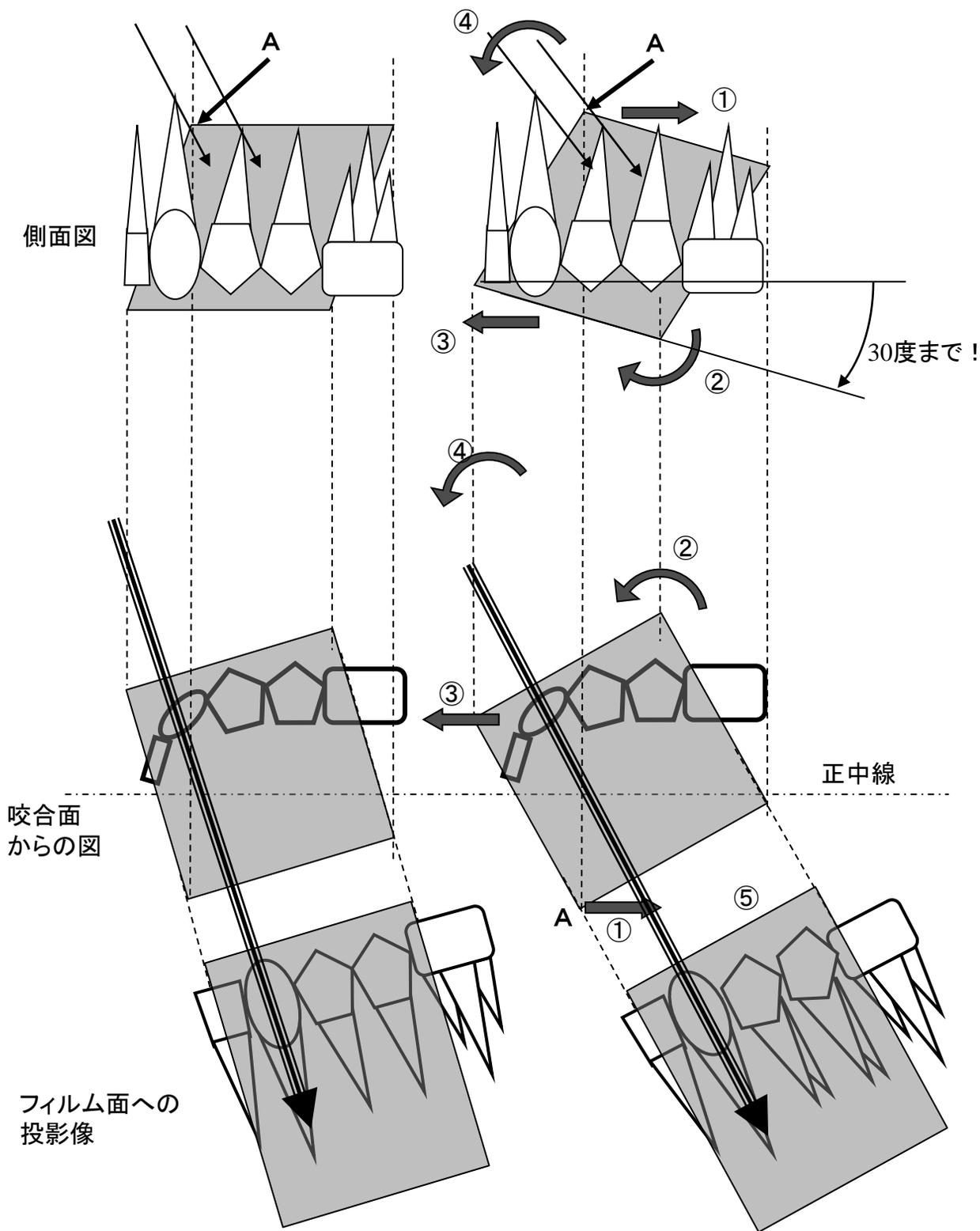


犬歯・小臼歯部撮影について



- ①フィルムのA部が口蓋の傾斜によって、フィルムがすべる場合、
- ②フィルムは、回転し、後方が落ちてくる。この場合、回転角は30度以内に収めること。
- ③また、フィルムを前方にスライドさせ、側切歯をフィルムに完全に入れるようにする
- ④エックス線の前后的入射角度(水平面内の角度)は、前方からの入射(偏近心投影)にすること。でないと、犬歯根尖がフィルムからはみ出す。
- ⑤そのとき、小臼歯咬頭は、斜めに投影され、2根が分離する。